

「これまでに経験したことのないような大雨。嚴重に警戒を」一。
 気象庁は7月12日、短文で災害への警戒を呼び掛けた。
 7月11日から14日まで降り続いた豪雨は
 土砂崩れ、堤防・橋梁決壊、家屋浸水など
 九州北部に甚大な被害をもたらした。
 菊池市史上まれにみる大災害となった今回の豪雨。
 自然の猛威がどれほどの爪痕を残したのか。
 そして被災地の住民の声は—。
 現地取材した。

主な被害状況(7月23日現在)	
死者・行方不明者	0人
軽傷者	2人
住家全壊	1棟
住家半壊	1棟
住家一部損壊	4棟
住家床上浸水	78世帯
住家床下浸水	115世帯
公共施設被害(公民館)	2棟

Contents ~今月号の掲載項目~

- 3 | 九州北部豪雨災害緊急レポート
乗り越える力
- 10 | オリンピック特集
菊池から夢の舞台へ—
- 18 | TOPICS
韓国インターンシップ生が菊池市で体験中！／父の日に乳を贈ろう！／龍門小学校にオリンピック選手がやってきた！／黒潮市場から泗水小学校へマイバッグ持参運動寄付金 ほか
- 22 | 第8回「夫婦の手紙・絵手紙」作品募集
国民年金情報
- 24 | 健康だより 19歳になったら複合健診を受けましょう
献血にご協力をお願いします／歯ッピーキッズ
- 26 | 文芸きくち
図書だより
- 28 | シリーズ菊池遺産／人権同和教育シリーズ
菊池夢美術館情報／わいふ一番館だより
ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム
はい！こちら菊池市消費生活センターです！
- 30 | 情報つつ
▼お知らせ
児童扶養手当など現況届を提出してください／新しい国民健康保険証・後期高齢者医療保険証を送りました／後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証の更新／菊池市教育委員会委員・公平委員会委員の就任／農業委員会委員の就任／熱中症に備えましょう！／歯周疾患検診(歯と歯ぐきの健診) お口の中は健康ですか？／始まります！今年の複合健診／家屋評価、現地調査を実施します ほか
- 36 | ▼申請／募集
固定資産税の減額制度が設けられています／吹き付けアスベスト除去費用を補助します／耐震診断の費用を補助します／高齢者に優しい賃貸住宅の整備費用を補助します／菊池市四季の里旭志の指定管理者を公募します／明るい選挙啓発作品コンクール作品募集／きくち楽習大学受講生募集！／国際交流研修生募集／菊池観光ボランティア養成講座参加者募集！／ゆい・サポート養成研修参加者募集！／自衛官募集／警察職員採用試験／菊池川キッズ探検隊～家族で地引網～ ほか
- 40 | ▼相談／市民の広場／イベント ほか
一人で悩まずにご相談ください！／身体・知的障がい者相談員を紹介します／身体障がいのある人のための相談日／行政無料相談／菊池郡市童話発表大会／くまもと・みんなの川と海づくりデー／ふれあい親子DAY！～秋をまるごと楽しもう～／Happy Birthday／休日在宅当番医 ほか

今月の表紙

7月2日、ロンドンオリンピック陸上男子100m代表に選ばれた江里口匡史選手が、母校の隈府小学校と菊池南中学校を訪れました。表紙は、菊池南中の正面玄関前で校舎を見上げる江里口選手。後輩からのエールを受けながら交流しました。(関連記事 10 ページ)



合志川上流から押し寄せる濁流により決壊した泗水町福本の「ふれあい橋」。
 7月12日午前7時34分撮影

九州北部豪雨災害緊急レポート ちから 乗り越える力



8



7



自然の猛威

Forces of nature

まちが沼と化し、道は川に変貌し
家は流され押しつぶされる。
これらは全て菊池で起こったこと。
なすすべもなく一瞬にして
住民の日常を奪い去る
自然の怖さがそこにあった。



11



9



10



12

1. 旭志伊萩地区で発生した土石流により押しつぶされた家屋。2人が生き埋めとなったが無事救出された 2. 各地の被災状況を記録した黒板 3. 土砂崩れや水没などで多くの道路が通行止めになり交通がまひした 4. 土石流により押し流された軽トラック 5.7.8. 合志川が氾濫し住宅街が沼と化した泗水町福本地区 6. 洪水で半壊した旭志伊萩地区の家屋 9. 流木が激突し変形した橋の欄干 10. 「ふれあい橋」に引っかかった流木 11. 洪水で決壊した泗水町住吉地区の堤防 12.13. 濁流により洗掘され破壊された道路



4



3



2



13



6



5



おののだとしゆき
福本二区長 小野田年行さん

鞍岳を源に旭志と泗水町の中央を流れる合志川。泗水町福本二区は、この川の氾濫により、床上・床下浸水や車両の水没など大きな被害を受けた。

福本二区長の小野田さんは、「区民から『家に水が来ている』と連絡を受け、すぐに消防団と消防署に連絡しました」と振り返る。その後消防署や消防団と一緒に川沿いの住宅に避難を呼び掛けたが、まだ夜中ということもありなかなか気が付いてもらえなかったという時間が経つにつれ水位が上がりが避難が困難になると、消防署や消防団が住民をボートで運んだり背負ったりして救助活動に当たった。

救助活動に続き、泗水方面隊全ての消防団員や地元業者が復旧活動に参加。住宅街に溢れていた汚泥やごみは驚くほど早く撤去された。小野田さんは、「今回の避難活動や早期の復旧は、地域の団結力があってこそできたことです。今後も『3軒両隣』の精神を大事にしてもらえたら」と思いを話した。

地域の団結力で避難と復旧

被災地の声

Voice in the disaster area

住民が寝静まっていた夜中に、突然襲ってきた自然災害。幸いにも、市内の死者・行方不明者はゼロだった。想定外の状況のなか、住民が取った行動とは。被災地の皆さんに話を聞いた。

市税の減免制度が利用できます

被害の程度に応じて、平成24年度の市税の減免が受けられる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

対象となる税 市民税、国民健康保険税、固定資産税

問い合わせ先

- ・ 税務課市民税係
☎ 0968 (25) 7206
- ・ 税務課固定資産税係
☎ 0968 (25) 7207



まえだいちお
前田一夫さん（福本一区）

12日の午前5時に目が覚めると、すでに玄関まで水が来ていました。巡回していた消防署の皆さんに助けられました。水位は最終的に156センチまで上がっていたようです。



もり ようこ
森 陽子さん（北桜ケ水区）

消防団の皆さんに助けられました。本当に感謝しています。人は水がないと生活できません。水は大切ですが、今回の災害では水の恐ろしさも知ることができました。



福本二区公民館に避難した皆さん

家が浸水し、畳が水に浮いて歩けなくなりました。窓は水圧で開かないし、靴は水に流されてばらばら。平屋で2階に避難もできず呆然としているとき、消防署の人に助けられました。



ながたゆうこ
永田裕子さん（伊坂区）

普段の雨と違い、身の危険を感じて区長さんに電話しました。すぐに逃げようと言われ、体一つで公民館へ逃げました。区長さんの迅速な対応に感謝しています。



旭志公民館に避難した皆さん

飛行機が飛んでいるような音がして道路の上の方から水が流れて来ました。まさか家が被害を受けるとは思いもしませんでした。生まれて初めて災害の怖さを知りました。



いしはらきみひさ
伊坂区長 石原公久さん

矢護川沿いにある旭志伊坂区。今回の豪雨により矢護川が氾濫し、家屋損壊、浸水、断水などの被害が発生した。

伊坂区長の石原さんは、「12日の朝3時ごろ、川の水が堤防を越えそうだと連絡があり、起きて見に行ったらすでに堤防を越えはじめていました」と当時の状況を語る。すぐに消防団を召集し、公民館から全戸に配布してある防災無線を通じて警戒を呼びかけた。

すると午前6時ごろ、流木が橋脚に引っかかったことをきっかけに、濁流がどんどん地区内に流れ始めた。「区民の皆さんには自主避難を呼び掛け、できない人には消防団に誘導してもらい小学校へ避難してもらいました」と石原さん。その後、泥や流木の撤去などを区民が一致協力して行い、当面の生活基盤を確保した。石原さんは、「家や農地など、みんなそれぞれ被害を受けたにも関わらず、地区のために頑張っていた皆さま。区民の皆さんの協力で本当に感謝しています」。

区民の協力でスムーズな避難活動

孤立状態になった被災地には、高齢者世帯が多かった。被災地は当時危険な状態で、高齢者が自力で非難できる状況ではなかった。そのとき活躍したのが地元消防団だった。中村さんは、「このような事態が起こったとき、消防団は本当に頼りになる」と信頼を寄せる。緊急事態に対応できる地域の強さが、迅速な救助活動へとつながった。

旭志四季の里方面から突如発生した濁流により、道路が2.5メートル以上に渡り破壊され、北桜ケ水区の住民が孤立状態となった。災害発生当時、県外にいた中村区長は、テレビで菊池市の状況を初めて知った。「菊池市が大変なことになっている」。すぐに地元の人に連絡を取り、状況を確認。自分の地区が被災していることを知ると、真っ先に被災地へ向かった。北桜ケ水区の近くに川は流れていない。中村さんは、「まさかこの地区で水害が起こるなんて思いもしませんでした」と驚きを隠せない。

孤立状態になった被災地には、高齢者世帯が多かった。被災地は当時危険な状態で、高齢者が自力で非難できる状況ではなかった。そのとき活躍したのが地元消防団だった。中村さんは、「このような事態が起こったとき、消防団は本当に頼りになる」と信頼を寄せる。緊急事態に対応できる地域の強さが、迅速な救助活動へとつながった。

予想だにしなかった水害



なかむらさだのぶ
北桜ケ水区長 中村貞信さん



家屋に残る汚泥を撤去するボランティアの皆さん



熊本北高生ボランティア。左から南家諒太さん、村木勇人さん、倉原和希さん



汚泥の撤去作業をする消防団の皆さん



復興作業では地域住民が一つになった



寄付で市に届けられたタオル類。ほかに多くの寄付が届けられた



復興作業では消防団やボランティアのほか地元業者の重機械も大活躍した



避難所を訪れ炊き出しの手伝いをする地域ボランティア



重機械を駆使して汚泥の撤去作業



避難者や復興活動をしている人たちに炊き出しをする地域住民の皆さん



炊き出し料理のほとんどの材料は各自で持ち寄ったもの

そして復興へ

署員は、住民の安心安全のために仕事をするのが第一です。そのためには、地域の人や消防団と連携・協力していかないとやっていけない業務だと思っています。

自助の意識を持って

市民の皆さんには、日頃から自助の意識を持ってもらい、いざというときの避難場所の把握など、自分にできる災害への備えをしてほしいと思います。今回の災害は、私の知っている限り菊池地域では一番大きな災害でした。気象庁が「これまでに経験したことのないような大雨」と表現したとおり、想像もつかないような猛烈な雨が降り、各地で降雨量を更新しました。「この地区は今まで災害が起こらなかったから大丈夫」などと考えている人も多いのではないのでしょうか。今回の豪雨のような今までの常識が通用しない災害がまたいつ起こるとも分かりません。自分の身は自分で守るという意識を持ち、少しでも危険を感じたら早めに逃げることに。これに尽きると思います。



菊池広域連合消防本部消防長
高山譲二さん Jyoji Takayama

死者・行方不明者ゼロ

今回の豪雨被害に伴う最初の119番は、12日午前2時4分で床下浸水によるものでした。その後も矢継ぎ早に通報があり、午前5時に災害対策本部を立ち上げて対策に当たりました。

同日午前5時〜午前9時までに出動した回数は30件にのぼります。菊池市では、旭志伊秋の家屋倒壊による生き埋めや泗水町福本の家屋浸水の孤立者救出などが主な出動となっています。菊池市内で2人、管内全体で3人がけがをされ

ましたが、この大災害において死亡者や行方不明者が出なかったことに安堵しています。

指令センターが活躍

今回の大規模な災害に迅速に対応できたのは、菊池広域連合指令センター（以下指令センター）の存在が大きかったと思っています。指令センターは平成22年4月1日にスタートしていますが、指令センターができるまでは、北署・南署・西署・泉ヶ丘署の各署で119番を受け付けていまし

た。各署内の出動だけを促していたし、しかも無線でやり取りするしか方法がありませんでした。指令センターができてからは、2市2町の119番を全て本部で集約しており、同時に8回線取れるようになっていきます。また、4署全ての車両出動状態も把握できるようにになりました。今、どの車両が活動中なのか、どの車両が空いているかを把握しやすくなり、素早い指示が出せるようになりました。このことが今回の迅速な対応につながった一番の要因ではないかと思えます。また、今回のような大きな災害の場合には、各署の垣根を超えた対応が必要になってきます。旭志伊秋の救援活動も北署からは1台しか出られなかったのですが、南署から3台出て対応しています。

地域との連携

今回の災害では、地元消防団の皆さんは私が消防本部に向かう頃にはすでに活動されていました。日頃から消防団の皆さんの活動には助けられています。私たち消防

取材を終えて

九州北部を襲った豪雨は、菊池市に今まで経験したことのない多くの被害をもたらした。このまちに起こった災害を後世に残し、今後の市民の防災意識の向上につなげたいと行った今回の緊急レポート。被災地では目を疑う光景を前に言葉が失った。そして避難所ではいろんな人に出会った。家を流され涙する人、家に帰られず家の様子を気にする人、自分にできることはないかと被災地や避難所を訪れたボランティア、黙々と復旧作業に当たる消防団員など、さまざまな人の声を聞くことができた。被災者の声で一番多かったのは、消防団、消防署や地域の人への感謝の言葉だった。「家が被災して呆然としていると、消防団員が助けに来てくれた」「近所の人々が助けを呼んでくれた」「消防署の人の姿を見て『助かった』と思った」など、中には涙を流す人もいた。菊池の地域力は強い。今後はさらに地域力を高め、守っていくことが大事だ。この力はこの先もきっと多くの困難を乗り越える力になるだろう。もちろん防災には自助の意識を高めることも必要だ。またいつか起こるかも知れない「想定外」を乗り越えるために。